

# 温室効果ガス削減アクションプログラム

## 第二計画期間

### 温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

### 操作マニュアル

### 【特定事業者（事業所）】

2025 年 4 月

仙台市

## 目次

ツール概要 .....	1
＜削減計画書作成時の操作手順＞	
操作1：「はじめに」シート入力時の操作手順 .....	2
操作2：「事業所排出量内訳（基準年度）」シート入力時の操作手順 .....	4
操作3：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順 .....	12
操作4：「計画書②（取組）」シート入力時の操作手順 .....	14
操作5：「計画書③（任意記載）」シート入力時の操作手順 .....	15
＜削減報告書作成時の操作手順＞	
操作1：「はじめに」シート入力時の操作手順 .....	16
操作2：「事業所排出量内訳（第1～3年度）」シート入力時の操作手順 .....	19
操作3：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順 .....	24
操作4：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順 .....	26
操作5：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順 .....	31

## ツール概要

本ツールは、特定事業者が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援するものです。本マニュアルに記載の順に作業を進めていただくと、スムーズに計画書・報告書を作成することが可能です。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書作成時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。

## <削減計画書作成時の操作手順>

## <削減計画書作成時の操作手順>

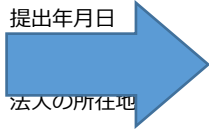
### 操作 1:「はじめに」シート入力時の操作手順

1. 「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画書	計画期間	2023	年度	～	2025	年度
	基準年度	2022	年度			
	提出年月日		年		月	
届出者	法人の名称					
	法人の所在地					
	代表者の職・氏名					
	代理者の職・氏名					
該当要件	条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所			
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量			
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者			
	一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者			
事業所の概要	事業所の名称					
	事業所の所在地	〒		-		
	産業分類番号					
	事業の概要					
担当者	従業員数		人			
	延べ床面積		㎡			
	所属部署					
	住所	〒		-		
	氏名					
	電話番号					
	FAX番号					
	Eメールアドレス					
報告書	提出対象年度	第		年度		
	提出年月日		年		月	

計画書提出時にはこの項目は入力不要です。

2. 「Enter」キー押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。  
入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

計画期間	2023	年度	～	2025	年度	計画期間	2023	年度	～	2025	年度
基準年度	2022	年度				基準年度	2022	年度			
提出年月日	2023	年	4	月	2	提出年月日	2023	年	4	月	2
法人の名称	株式会社 ○○物産						株式会社 ○○物産				
法人の所在地											
代表者の職・氏名											
代理者の職・氏名											
条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量カ					条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量カ		
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くし				条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くし			
条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を				条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を			
一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者				一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者			

## 操作 2: 「事業所排出量内訳 (基準年度)」 シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度（2022年度） 非公表

### 1. エネルギー起源二酸化炭素（CO2）排出量

燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く。)				kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)				kl			
	揮発油				kl			
	ナフサ				kl			
	ジェット燃料油				kl			
	灯油				kl			
	軽油				kl			
	A重油				kl			
	B・C重油				kl			
	石油アスファルト				t			
	石油コークス				t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)				kl		
		石油系炭化水素ガス				千Nm3		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)				t		
		その他可燃性天然ガス				千Nm3		
	石炭	原料炭	輸入原料炭			t		
			コークス用原料炭			t		
			吹込用原料炭			t		
		一般炭	輸入一般炭			t		
			国産一般炭			t		
		輸入無煙炭			t			
石炭コークス					t			
コールタール					t			
コークス伊ガス					千Nm3			
高炉ガス					千Nm3			
発電用高炉ガス					千Nm3			
乾炉ガス					千Nm3			
都市ガス					千m3			
デナント空調等設計値					GJ			
その他 ( )								
小 計		-	-	-	-	0	0	
非化石燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
非化石燃料	炭流				t			
	木材				t			
	木質廃材				t			
	バイオエタノール				kl			
	バイオディーゼル				kl			
	バイオガス				千m <sup>3</sup>			
	その他/バイオマス				t			
	RDF				t			
	RPF				t			
	廃タイヤ				t			
	廃プラスチック	一般廃棄物				t		
		産業廃棄物				t		
	廃油				kl			
	廃棄物ガス				千m <sup>3</sup>			
	混合廃材				t			
	水素				t			
アンモニア				t				
その他 ( )								
小 計		-	-	-	-	0	0	
熱の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気				GJ		
		うち非化石				GJ		
		産業用以外の蒸気				GJ		
		うち非化石				GJ		
		温水				GJ		
		うち非化石				GJ		
		冷水				GJ		
		うち非化石				GJ		
		その他 ( )				GJ		
		うち非化石				GJ		
	(非化石) 熱	地熱				GJ		
		温泉熱				GJ		
		太陽熱				GJ		
		地中熱				GJ		
その他 ( )				GJ				
うち非化石 小 計		0	0	0	GJ	0		
小 計		0	0	0	GJ	0		

### 1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	
		数量	割合
化石燃料	0 GJ	-	-
非化石燃料	-----GJ	-----GJ	-----
熱	0 GJ	-----GJ	-----
熱量合計（電気以外）	0 GJ	-----GJ	-----

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量
		----- kWh
電気	0 kWh	

	非化石電気	その他非化石エネルギー等
非化石エネルギーの使用割合	*****	*****

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

### 3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

#### 4. 原単位の指標

排出原單位	0 t-CO <sub>2</sub> /
-------	-----------------------

テナント空調等推計値	換算係数	排出係数
その他の名称	換算係数	排出係数

\_\_\_\_\_

子の他の名称	換算係数	抽出係数

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
うち非化石		

その他使用した熱（非化石熱）	換算係数
地熱	
温泉熱	
太陽熱	
雷米熱	

※赤枠欄へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

<5>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電 気	電気事業者からの買電				千kWh		
	昼間買電量				千kWh		
	夜間買電量				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	自家発電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
	うち非化石 小 計				千kWh	0	
	小 計	0	0	0	千kWh	0	0

<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計						

<6>

## 2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	
メタン (CH <sub>4</sub> )	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合 計	

<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA		100%			3.600	
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)		100%			3.600	
上記以外の自己託送					8.640	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)
合計						
自家発電		売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
自家消費した非化石電気		使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)			
太陽光			3.600			
水力			3.600			
風力			3.600			
その他 (非燃料由来の非化石)			3.600			
合計		0				

<7>

## 3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
合 計	

<8>

## 4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

拡大図<1>

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO2）排出量

燃料の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
化石燃料	原油（コンデンセートを除く。）	①	①	①	kl				
	原油のうちコンデンセート(NGL)				kl				
	揮発油				kl				
	ナフサ				kl				
	ジェット燃料油				kl				
	灯油				kl				
	軽油				kl				
	A重油				kl				
	B・C重油				kl				
	石油アスファルト				t				
	石油コークス				t				
	石油ガス				液化石油ガス（LPG）	t			
					石油系炭化水素ガス	千Nm <sup>3</sup>			
					液化天然ガス（LNG）	t			
					その他可燃性天然ガス	千Nm <sup>3</sup>			
	石炭				原料炭	輸入原料炭	t		
						コークス用原料炭	t		
						吹込用原料炭	t		
					一般炭	輸入一般炭	t		
						国産一般炭	t		
						輸入無煙炭	t		
					石炭コークス	t			
	コールタール				t				
	コークス炉ガス				千Nm <sup>3</sup>				
	高炉ガス				千Nm <sup>3</sup>				
発電用高炉ガス	千Nm <sup>3</sup>								
転炉ガス	千Nm <sup>3</sup>								
都市ガス	千m <sup>3</sup>								
テナント空調等推計値	GJ			②					
その他（）									
小 計		④	-	-	④	0	0		
非化石燃料の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
非化石燃料	黒液	①	①	①	t				
	木材				t				
	木質廃材				t				
	バイオエタノール				kl				
	バイオディーゼル				kl				
	バイオガス				千m <sup>3</sup>				
	その他バイオマス				t				
	RDF				t				
	RPF				t				
	廃タイヤ				t				
	廃プラスチック				一般廃棄物	t			
					産業廃棄物	t			
	廃油				kl				
	廃棄物ガス				千m <sup>3</sup>				
	混合廃材				t				
	水素				t				
	アンモニア				t				
その他（）									
小 計		④	-	-	④	0	0		

テナント空調等推計値	②	換算係数	排出係数
その他の名称	③	換算係数	排出係数

その他の名称	③	換算係数	排出係数
--------	---	------	------

- ①年間の使用量を燃料別に入力します。
- ②テナント空調等推計値を使用している場合、“排出量”“テナント空調等推計値”“排出係数”を入力します。
- ③ ①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”等を入力します。
- ④ ③についての“使用量”“外部供給量”“単位”“熱量”“排出量”を入力します。

## 拡大図<2>

熱の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
熱	産業用蒸気	①			GJ		
	うち非化石				GJ		
	産業用以外の蒸気				GJ		
	うち非化石				GJ		
	温水				GJ		
	うち非化石				GJ		
	冷水				GJ		
	うち非化石				GJ		
	その他 ( )				GJ	⑤	
	うち非化石				GJ		
(非化石熱)	地熱	①			GJ		
	温泉熱				GJ		
	太陽熱				GJ		
	雪氷熱				GJ		
	その他 ( )				GJ		
	うち非化石				GJ		
うち非化石 小計		0	0	0	GJ	0	
小計		0	0	0	GJ	0	0

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		④
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
⑤		
うち非化石		

その他使用した熱 (非化石熱)	換算係数
地熱	⑥
温泉熱	
太陽熱	
雪氷熱	

- ④産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。
- ⑤その他の熱を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力し、“熱量”“排出量”を入力します。うち非化石においては“熱量”を入力します。
- ⑥その他使用した熱（非化石熱）を使用している場合、“使用した熱の名称”“換算係数”を入力します。

## 拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑦						
合計						

- ⑦契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP. 11 に示します。

※「電気事業者からの買電」の「うち非化石」欄は、小売電気事業者のメニューごとの非化石割合を入力します。

### 【非化石割合の確認方法】

- ①非化石エネルギー100%メニューや再生可能エネルギー100%メニューの場合  
「うち非化石」欄には「100%」と入力します。

②通常の電力小売り契約（残差メニュー等）の場合

当該電気事業者の非化石証書の使用状況（残差により作成した非化石証書の使用状況）を元に、下記 計算式により非化石割合を算出し、「うち非化石」欄に入力します。非化石証書の使用状況については、小売電気事業者のホームページで円グラフなどによってパーセンテージが示されています。

（非化石割合の算出方法）

電気事業者の非化石証書の使用状況を A% とすると、下記計算式により算出できます。

$$\text{非化石割合（\%）} = A + (100 - A) \times 0.13$$

拡大図＜4＞

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑧	100%			3.600		
自己託送（非燃料由来の非化石電気）		100%			3.600		
上記以外の自己託送		⑨			8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
			⑩			9.760	
合計						9.760	

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
自家発電		⑪		

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3.600
水力	⑫	3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計	0	

⑧上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。

⑨上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。

⑩上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。

⑪自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。

⑫自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電 気	電気事業者からの買電				千kWh		
	昼間買電量				千kWh		
	夜間買電量				千kWh		
	うち非化石			⑬	千kWh		
	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	自家発電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計					千kWh		
小 計		0	0	0	千kWh	0	0

⑬ ⑦～⑫の合計値が転記されます。

拡大図<6>

## 2. エネルギー起源二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	
メタン（CH <sub>4</sub> ）	
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	⑭
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF <sub>6</sub> ）	
三フッ化窒素（NF <sub>3</sub> ）	
合 計	

⑭エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、“排出量”を入力します。

拡大図<7>

### 3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合 計	

⑮

拡大図<8>

### 4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	
単位	
数値	

⑯

⑮クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“排出量”を入力します。

⑯原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## <排出係数ツールの使い方>

電気事業者名 入力欄		該当数	0件
---------------	--	-----	----

電気事業者名	調整後排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千kWh)

※赤枠にキーワードを入力し Enter キー押下にて検索結果が緑枠に表示されます。

電気事業者名 入力欄	東京電力 ①	該当数	15件
---------------	--------	-----	-----

電気事業者名	調整後排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千kWh)
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE ②	0.000 ④
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000

## <「事業所排出量内訳（基準年度）」シート>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
③				⑤		
合計						

- ①電気事業者名欄へ検索するキーワードを入力し Enter キー押下します。
- ②該当の電気事業者名をコピーし「事業所排出量内訳（基準年度）」シートへ移動します。
- ③「事業所排出量内訳（基準年度）」シートの電気事業者名欄へ電気事業者名を貼付けます。
- ④排出係数ツールへ戻り、調整後排出係数をコピーし「事業所排出量内訳（基準年度）」シートへ移動します。
- ⑤「事業所排出量内訳（基準年度）」シートの排出係数欄へ調整後排出係数を貼付けます。

## 操作 3：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）

### 1 事業所の概要

事業者の名称	①			
事業所の名称				
事業所の所在地				
主たる業種				
事業所の規模等	従業員数	人	延床面積	m <sup>2</sup>

### 2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

### 3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

②

①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。

②“基本方針”及び“組織体制”を入力します。

### 4 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標

2022年度 (基準年度)	温室効果ガスの 排出の状況	基準排出量	③	基準原単位	0	t-CO <sub>2</sub> /
2025年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	④	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	⑤	削減率		%
	非化石エネルギー の使用目標割合	非化石電気	⑥	その他非化石 エネルギー等		%
目標設定の 考え方	⑦					

③「事業所排出量内訳（基準年度）」シートから転記されます。

④最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。

⑤基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。

⑥非化石電気及びその他非化石エネルギー等の“使用目標割合”を入力します。

⑦④で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 4：「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順

5の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。	①	
3	管理標準（管理マニュアル）の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。		

拡大図

実施状況 (基準年度)	実	実施予定
実施済 未実施 非該当		第1年度 第2年度 第3年度 予定なし

① 5の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

基本対策は全項目の入力が必須です。

5の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	②		②	
2				

拡大図

番号	項目
38	
39	
40	外部機関による省エネ診断
41	生産性管理
42	エネルギー使用量の見える化（前
43	エネルギー使用量の見える化（分
44	ボイラの運転効率管理
45	ボイラの給水及びブローの管理
46	蒸気トラップの管理
47	工業炉の断熱性能維持管理

② 5の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

選択対策は任意入力です。

5の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	③	④	③	
2				

拡大図

番号	項目
62	
63	
64	環境マネジメントシステムの導入
65	SBTやRE100等の国際的な気候
66	従業員の自動車利用の抑制、公
67	環境教育・学習の実施（従業員
68	廃棄物削減対策の実施
69	森林の保全・緑化の推進
70	グリーン調達の実施
71	カーボンフットプリントの実施


③ 5の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。その他の対策は任意入力です。

④ “具体的な取組内容”を入力します。


上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 5：「計画書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				 <div data-bbox="874 633 1227 736"> <p>対策に係る写真があれば ここに貼付</p> </div>
2				

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				 <div data-bbox="874 1361 1227 1464"> <p>対策に係る写真があれば ここに貼付</p> </div>
2				

このシートへの入力任意です。記載事項がある場合は、赤枠欄へデータを入力します。  
また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

## <削減報告書作成時の操作手順>

## <削減報告書作成時の操作手順>

### 操作 1:「はじめに」シート入力時の操作手順

計画書	計画期間	2023	年度	～	2025	年度	
	基準年度	2022	年度				
届出者	提出年月日	2023	年	6	月	1	日
	法人の名称	株式会社仙台□□					
	法人の所在地	仙台市〇〇区〇〇町十丁目9番8号					
	代表者の職・氏名	社長 仙台 輝宗					
該当要件	代理者の職・氏名	△△事業所長 仙台 政宗					
	条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所□				
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量が3,000トン以上の事業所				
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者				
事業所の概要	一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者				
	事業所の名称	株式会社 仙台□□ △△事業所					
	事業所の所在地	〒	980	-	9999		
	産業分類番号	9 2 9 3					
担当者	事業の概要	その他の事業サービス業					
	従業員数	1,000	人				
	延べ床面積	1000000	㎡				
	所属部署	総務部 施設管理課					
	住所	〒	980	-	0000		
	氏名	削減 太郎					
	電話番号	022-111-2222					
	FAX番号	022-111-3333					
	Eメールアドレス	k.hagino@sendai□□.co.jp					
	報告書	提出対象年度	第		年度		
	提出年月日		年		月		日

報告書の提出対象年度と提出年月日を入力してください。



<5>

電気の種類	使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電量				千kWh		
夜間買電量				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計	0		0	千kWh	0	
小 計	0	0	0	千kWh	0	0

<6>

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	
メタン (CH <sub>4</sub> )	
二酸化窒素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合 計	

<7>

クレジット等の種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合 計	

<8>

#### 4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	
単位	
数値	

<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	経路買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	経路排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計						

<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA		100%				3.600	
自己託送（非燃料由来の非化石電気）		100%				3.600	
上記以外の自己託送						8.640	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
						8.640	
合計							

自家発電	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計		0

<4>

※「事業所排出量内訳」シート(緑色)へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

## 操作 2:「事業所排出量内訳 (第 1~3 年度)」シート入力時の操作手順

拡大図<1>

### 1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO2) 排出量

燃料の種類			使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く。)					kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)					kl			
	揮発油					kl			
	ナフサ					kl			
	ジェット燃料油					kl			
	灯油					kl			
	軽油					kl			
	A重油					kl			
	B・C重油					kl			
	石油アスファルト					t			
	石油コークス					t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)					t		
		石油系炭化水素ガス					千Nm3		
		液化天然ガス (LNG)					t		
	可燃性天然ガス	その他可燃性天然ガス					千Nm3		
	石炭	原料炭	輸入原料炭				t		
			コークス用原料炭				t		
			吹込用原料炭				t		
		一般炭	輸入一般炭				t		
			国産一般炭				t		
		輸入無煙炭				t			
	石炭コークス					t			
	コールタール					t			
	コークス炉ガス					千Nm3			
	高炉ガス					千Nm3			
発電用高炉ガス					千Nm3				
転炉ガス					千Nm3				
都市ガス					千m3				
テナント空調等推計値					GJ				
その他 ( )									
小 計			- ④ -	-	-	- ④ -	0		
非化石燃料の種類			使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
非化石燃料	黒液					t			
	木材					t			
	木質廃材					t			
	バイオエタノール					kl			
	バイオディーゼル					kl			
	バイオガス					千m3			
	その他バイオマス					t			
	RDF					t			
	RPF					t			
	廃タイヤ					t			
	廃プラスチック	一般廃棄物				t			
		産業廃棄物				t			
	廃油					kl			
	廃棄物ガス					千m3			
	混合廃材					t			
	水素					t			
	アンモニア					t			
その他 ( )									
小 計			- ④ -	-	-	- ④ -	0		

テナント空調等推計値	換算係数	排出係数

その他の名称	換算係数	排出係数

①年間の使用量を燃料別に入力します。

②テナント空調等推計値を使用している場合、“排出量”“テナント空調等推計値”“排出係数”を入力します。

③ ①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。

④ ③についての“使用量”“外部供給量”“単位”“熱量”“排出量”を入力します。

## 拡大図<2>

熱の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
熱	産業用蒸気	①			GJ		
	うち非化石				GJ		
	産業用以外の蒸気				GJ		
	うち非化石				GJ		
	温水				GJ		
	うち非化石				GJ		
	冷水				GJ		
	うち非化石				GJ		
	その他 ( )				GJ		
	うち非化石				GJ		
(非化石熱)	地熱	①			GJ		
	温泉熱				GJ		
	太陽熱				GJ		
	雪氷熱				GJ		
	その他 ( )				GJ		
	うち非化石 小計				GJ	0	0
小計		0	0	0	GJ	0	0

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		④
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
⑤		
うち非化石		

その他使用した熱 (非化石熱)	換算係数
地熱	⑥
温泉熱	
太陽熱	
雪氷熱	

- ④産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。
- ⑤その他の熱を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力し、“熱量”“排出量”を入力します。うち非化石においては“熱量”を入力します。
- ⑥その他使用した熱（非化石熱）を使用している場合、“使用した熱の名称”“換算係数”を入力します。

## 拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑦						
合計						

- ⑦契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP.11に示します。

※「電気事業者からの買電」の「うち非化石」欄は、小売電気事業者のメニューごとの非化石割合を入力します。

### 【非化石割合の確認方法】

- ①非化石エネルギー100%メニューや再生可能エネルギー100%メニューの場合  
「うち非化石」欄には「100%」と入力します。

## ②通常の電力小売り契約（残差メニュー等）の場合

当該電気事業者の非化石証書の使用状況（残差により作成した非化石証書の使用状況）を元に、下記 計算式により非化石割合を算出し、「うち非化石」欄に入力します。非化石証書の使用状況については、小売電気事業者のホームページで円グラフなどによってパーセンテージが示されています。

〈非化石割合の算出方法〉

電気事業者の非化石証書の使用状況を A% とすると、下記計算式により算出できます。

$$\text{非化石割合（\%）} = A + (100 - A) \times 0.13$$

## 拡大図＜4＞

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑧	100%			3.600		
自己託送（非燃料由来の非化石電気）		100%			3.600		
上記以外の自己託送		⑨			8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)
			⑩			8.640	
						8.640	
合計							

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
自家発電		⑪		

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)
太陽光		3.600
水力	⑫	3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計	0	

⑧上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。

⑨上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。

⑩上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。

⑪自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。

⑫自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電 気	電気事業者からの買電				千kWh		
	昼間買電量				千kWh		
	夜間買電量				千kWh		
	うち非化石	-----		⑬	千kWh		
	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石	-----			千kWh		
	自家発電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計		-----			千kWh		
小 計		0	0	0	千kWh	0	0

⑬⑦～⑫の合計値が転記されます。

拡大図<6>

## 2. エネルギー起源二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	⑭
メタン（CH <sub>4</sub> ）	
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF <sub>6</sub> ）	
三フッ化窒素（NF <sub>3</sub> ）	
合 計	

⑭エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、“排出量”を入力します。

拡大図＜7＞

### 3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑮	
合 計	

### 4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	⑯
単位	
数値	⑰

⑮クレジット等による削減量がある場合、クレジット等の種類と“排出量”を入力します。

⑯計画書作成時の操作2で「事業所排出量内訳（基準年度）」シートへ入力した“名称”と“単位”は、各報告年度の「事業所排出量内訳」シートへ転記されるため入力不要です。計画期間中は、同一の“名称”と“単位”を使用しますので、報告書作成時に変更しないでください。

⑰報告年度における原単位の指標となる“数値”を入力します。

上記入力が完了したら、入力漏れや誤記等がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 3：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減報告書（第二計画期間） 第 年度分

### 1 事業所の概要

事業者の名称				
事業所の名称	①			
事業所の所在地				
主たる業種				
事業所の規模等	従業員数	人	延床面積	m <sup>2</sup>

### 2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

### 3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

③

- ①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ②計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ③“組織体制”を入力します。計画書作成時より変更がない場合は「計画書①（事業所概要・目標）」シートの内容を転記してください。

4 温室効果ガスの排出の状況等

基 準 年 度	2022 年度	基準排出量	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目 標 年 度	2025 年度	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
		目標削減率	%	④ 目標削減率	%
	非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	%	⑤ その他 非化石エネルギー等	%
第 1 年 度	2023 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	⑤ 原単位	t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	%	⑥ 削減率	%
	非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	⑦ その他 非化石エネルギー等	%
排出量等の増減理由	⑧				

④計画書作成時に入力した内容が転記されます。

⑤操作 1 で入力した内容が転記されます。

⑥基準の排出量に対して各年度の削減率が表示されます。

⑦操作 1 で入力した内容が転記されます。

⑧各年度の“排出量”の増減理由を入力します。

上記入力が完了したら、入力漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 4:「報告書② (取組)」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

(第1年度、第2年度又は第3年度)

5の1 重点的に実施する取組の実施状況 (基本対策)			実施状況	
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。		
3	管理標準 (管理マニュアル) の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。		
4	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
5	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。		
6	ボイラー、工業炉の空気比の把握・管理	燃焼設備の空気比が定期的に把握され、基準空気比の範囲内で管理されている。空気比管理の記録が残されている。		
7	ボイラーの熱効率の把握・管理	ボイラーの熱効率が定期的に計算され、ボイラーの熱効率を高く維持する運用	第1年度、第2年度又は第3年度	
8	蒸気圧力・温度・供給量の管理	事業所内で使用する蒸気の必要な圧力、供給量を把握している。ボイラーを必要な圧力、供給量が確保できるように管理している。		
... 報告書① (事業所概要・実績)			報告書② 第1年度(取組)	報告書② 第2年度(取組)
			報告書② 第3年度(取組)	報告書③

5の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）			実施状況	
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。		
3	管理標準（管理マニュアル）の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。	①	②
4	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
5	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。		

① 計画書作成時の内容が転記されます。

② 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

基本対策は全項目入力必須です。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など	
第1年度	③

③ 報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）			実施状況	
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。 ④	実施済	一部実施済 ⑤
2	生産性管理	生産歩留まり改善のための検討や、業務の生産性改善のための検討を継続して実施している。	一部実施済	実施済

④ 計画書作成時の内容が記載されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

選択対策は任意入力必須です。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）			実施状況	
番号	項目	具体的な取組内容	基準年度	第1年度
1	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	自転車利用 ⑥	実施済	実施済 ⑦
2				

⑥ 計画書作成時の内容が記載されます。

⑦ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

その他の対策は任意入力です。

上記入力が完了したら、入力漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

## ○ 選択対策を追加する場合の入力方法

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	
1						<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;">           選択対策 項目追加欄へ移動         </div>
2						

① 「5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(選択対策)

1	外部機関による省エネ診断
2	ボイラーの運転効率管理
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

②

③

選択対策  
実施状況欄へ移動

② 追加する選択対策を、プルダウンリストから選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)			実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。			一部実施済
2	ボイラーの運転効率管理	同一の蒸気配管系統に接続する複数のボイラーを台数制御運転するにあたり、高効率ボイラーに負荷を集約して運転している。ボイラー群のシステム効率を評価している。			

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

## ○ その他の対策を追加する場合の入力方法

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

その他の対策  
項目追加欄へ移動

①

①「5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(その他の対策)

	具体的な取組内容
1	環境マネジメントシステムの導入 ○○○○○
2	森林の保全・緑化の推進 ○○○○○
3	
4	
5	

その他の対策  
実施状況欄へ移動

②

② 追加するその他の対策をプルダウンリストから選択し、具体的な取組内容を記入します。

③

③ **その他の対策実施状況欄へ移動**をクリックします。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	環境マネジメントシステムの導入 ○○○○○				実施済
2	森林の保全・緑化の推進 ○○○○○				
3					

その他の対策  
項目追加欄へ移動

④

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

## 操作 5：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば  
ここに貼付

このシートへの入力は任意です。記載事項がある場合は、赤枠欄へデータを入力します。  
また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：[action\\_program@city.sendai.jp](mailto:action_program@city.sendai.jp)